

新医学系指针对応「情報公開文書」改訂フォーム

研究協力のお願

昭和大学藤が丘病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

課題名 high risk 前立腺癌に対してアピラテロン酢酸塩治療が著効し、根治的前立腺全摘を行った2例
1. 研究の対象および研究対象期間 2018年4月から、当院泌尿器科でhigh risk 前立腺癌に対してアピラテロン酢酸塩での治療を行って、根治的前立腺全摘術まで施行した患者さんを対象に2018年4月から2021年6月までの研究対象期間とします。
2. 研究目的・方法 今まで遠隔転移をとまなう前立腺癌に対しては去勢をベースとしたAndrogen Deprivation Therapy（以下ADT）をおこなっていましたが、high risk 前立腺癌では治療効果で病変の消失に至るケースは多くありません。LATTITUDE試験により、転移病変をとまなうhigh risk 前立腺癌患者に対するアピラテロン酢酸塩の有効性が示され、その予後は大いに改善されていることが報告されています。今回、われわれはアピラテロン酢酸塩治療が著効し、遠隔転移病変が消失し、根治的前立腺全摘を施行できた2例を経験しましたので、分析および報告させていただきます。 研究期間 「昭和大学藤が丘病院臨床試験審査委員会」承認後、病院長の研究実施許可を得た（2021年5月31日）から2022年12月まで研究実施とします
3. 研究に用いる試料・情報の種類 2018年4月から、当院泌尿器科でhigh risk 前立腺癌に対してアピラテロン酢酸塩での治療を行って、根治的前立腺全摘術まで施行した患者の診療録から、患者背景（年齢、性別、身長、体重、診断病名、既往歴、現病歴、併用薬）、採血でのPSA値を含めた生化学、血算のデータ、さらには画像評価を行ったCT、MRI、骨シンチグラフィでのRECIST分類に基づいた所見および骨シンチグラフィでのEOD、BSI、Hsのデータを調査項目とします。
4. お問い合わせ先 本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及

び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

医学部泌尿器科学講座（藤が丘病院） 助教 山岸 元基

電話番号 045-074-6264

E-mail yamagishi@med.showa-u.ac.jp

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学藤が丘病院 氏名：山岸 元基

住所：横浜市青葉区藤が丘1-30

電話番号：045-074-6264

研究責任者：医学部泌尿器科学講座（藤が丘病院） 助教 山岸 元基